2020年8月25日

ｓａｎｔｅｃ株式会社

株主様・投資家様からいただいた質問への応答（要旨）

第１四半期決算発表後の（7月31日～）主要な質疑応答の要旨を記載しております。

Q. 第１四半期の実績が、売上、利益ともに好調でしたが、具体的にどの製品の売上が想定以上だったのでしょうか。

A. 通信市場向けの光測定器である波長可変光源（TSL）、光学特性検査装置（STS）と2019年度下期に在庫調整に入っていた光部品の伸びが想定以上でした。

Q. 2020年7月31日に公表された業績予想では、2020年度下期が事実上の下方修正になっていますが、どのような理由からでしょうか。

A. 2020年度下期は、上期と比較して通信市場向け光測定器と眼科医療機器の売上は減少、光部品の売上は、上期より伸びることを見込んでいます。通信市場向け光測定器については、売上の増加について一段落する見込みとしており、眼科医療機器については、コロナの影響で下期に在庫調整の可能性があるためです。米中貿易摩擦の動向、コロナの影響により、先行きが見通しづらくなっていることから、開示資料作成時に見えていたものを基礎として算定しております。

Q. 米中貿易摩擦のリスク要因はどこにありますか。

A. 米国と中国の双方に当社製品の販売ができなくなることが一番のリスクと考えています。第１四半期において大きな影響は出ておりませんが、今後の動向を注視していく必要があります。

Q. ５Ｇのサービス開始は当社の業績に対して、どのような影響があるのでしょうか。

A. 無線のデータ伝送量が増加すれば、有線で伝送する基地局やデータセンタ間においても、伝送量が増加することとなり、設備投資の増加が見込まれます。当社の光部品は、光で伝送される部分の伝送機器内で使われており、通信向けの光測定器は、光部品を製造工程で検査装置として利用されているものが多くあります。そのため５Ｇサービスの開始、拡大は、当社の事業に対してポジティブな影響が想定されます。

上記の回答は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。